

岸田内閣の軍拡・大增税を許すな 先人の不屈の闘いに学び奮闘を

国賠同盟奈良県本部 会長 加藤宜之



奈良県版

No. 361

2023年2月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒631-0033
奈良市あやめ池南1-9-27
加藤宜之気付
☎ 0742-43-0762
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

1月23日に始まった通常国会で、岸田首相は、歴代政権が「憲法違反」としてきた敵基地攻撃能力の保有を認め、これまでの「専守防衛」をかなぐり捨てての大軍拡とまた公約違反の原発再稼働、推進に大転換する施政方針演説を行いました。

敵基地攻撃能力は、現在の安民法制下では、集団的自衛権の行使として発動され、アメリカが起こした戦争で、日本への攻撃がなくとも、自衛隊はアメリカの相手国を攻撃することが可能になり、他国がミサイル発射を準備した段階で日本から敵基地攻撃するのが敵基地攻撃能力です。国際法でも禁じている先制攻撃そのものであり、憲法違反であることは明白で、国民に43兆円という米中に次ぐ世界3位の莫大な軍事費を強いることとなります。

私たち治安維持法犠牲者国賠同盟は、「再び戦争と暗黒政治を許さない」ことを運動の基本としていますが、戦前私たちの先人である治安維持法犠牲者が厳しい弾圧に屈せず、生命を賭して反戦平和を貫いた不屈の闘いを学ばなければなりません。

県同盟が提唱して結成・活動を進めている奈良・長谷川テル顕彰の会が、多くの人々の協力を得て般若寺境内に建立する顕彰碑の除幕式が、この4月30日に般若寺境内において挙行されます。日中戦争のさなか、反戦平和を貫いた長谷川テル顕彰事業は、今日のウクライナ情勢、台湾をめぐる米中対立の激化、安保3文書を閣議決定した岸田内閣の暴走のもとでは、重要な意義を持つ活動で、全国の反戦平和の運動に寄与するものです。

中岡（向良） 栄喜三の事績

奈良県月ヶ瀬村出身

(1905～1938)

6年前の2017年4月、北海道札幌市在住の岡野正さんから頂いた資料から、奈良県月ヶ瀬村字嵩出身の治安維持法犠牲者・中岡（向良）栄喜三に関する部分をまとめて紹介します。岡野さんは戦前の教職員の闘いを丹念に研究されている方です。「奈良県の治安維持法犠牲者名簿」を買い求められ、奈良県に関わる資料を提供していただいています。

中岡栄喜三は、『奈良県の治安維持法犠牲者名簿』には掲載されていません。ここでは、中岡のプロフィールと略歴を紹介いたします。

なお、中岡の論文「労作教育を論ず」は2000字を超えるもので、紙面の都合で省きますが、県調査部の在賀知子さんに翻刻していただいたデータは保存していただきますのでご希望の方には提供させていただきます。

前県本部会長 田辺 実

中岡（向良）^{むけら} 栄喜三のプロフィール

中岡栄喜三は、一九二五年奈良師範学校を卒業、東京高師・同文理大にすすみ、在学中、セツルメント運動・反戦同盟・失業反対同盟に加盟したため論旨退学処分をうけた。来阪して、大阪市南大江小学校に勤務、西寛二と共に大阪教育労働組合の組織のため活動し

ていたが、「新興教育」読者の関係から山中林之助と接触することになった。

三三年六月二十六日に検挙され、懲役四年（執行猶予二年）の判決を受けた。中岡は奈良師範始まって以来の秀才といわれ、短距離の選手でもあり、スポーツマンであったが、三八年六月若くして病没してしまった。

（『大教組運動史』より）



大塚学友会会報(第二号)
(1930年11月29日) 掲載の中岡の論文

向良榮喜三(むけらえきぞう)の略歴

「1905年5月8日 奈良県月ヶ瀬村字嵩、森太郎・ハヤ三男 奈良師範一部卒、」30年東京高師文科三部卒、在中安部網義・石川五三二らと読書会、2月4日中岡展世と結婚、中岡姓、4月東京文理科大、「大塚学友会々報」2号(11月29日)に「劳作教育を論ず」4号(31年1月28日)に「大学における自由」(筆名樺山二郎)、31年3月30日論旨退学、6月大阪府繩手小、32年6月南大江女子小、33年6月26日検挙、8月22日起訴、堺刑務所収監(未決)、③2月4年から毎月岳父・妻に手紙、8月27日大阪刑務所に、12月10日懲役4年執行猶予2年、釈放、岳父・妻を迎え、37年大阪・浜田印刷所、1938年6月28日死去。

(岡野正氏提供の資料より)

在賀知子さんに入力していただき
ました

国際女性デー100周年奈良県集会

2023年3月8日(水) 13:30~14:30

近鉄奈良駅前 行基前広場

ミモザ色(黄色)を身に着けて参加しましょう!



国賠同盟も要請を受け、実行委員会に参加することになりました。国際女性デーは、世界の女性が「パン」と「参政権」を求めていっせいに立ち上がった日です。

日本では1923年にはじめて記念講演会が開催されましたが、警官によって中止させられ、戦後、1947年に復活しました。苦難の歴史の中で、自覚的民主勢力によって毎年実行されています。今年で100年になります。

コロナ危機はいまだに収束せず、異常な物価高や医療や福祉の後退の中で生活はひっ迫、何よりも戦後の安全保障原則の大転換をすすめる大軍拡・増税の路線は絶対許せません。「この戦争への道は絶対イヤ」とみんなで集まり声をあげましょう。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 女性交流会

講演 平和と暮らしを守り、ジェンダー平等の実現

～不屈のたたかいを受け継ぎ、新しい時代を拓こう～

2022年11月6日 日本共産党田村智子衆院議員

田村智子さんの
DVDできました

【講演の内容】(50 分間)

- 「アベノミスク」の失敗を認めて、物価高騰から暮らしと経済を守れ！
……庶民に「やさしい」政策への転換こそ、経済を強くする
……ジェンダー平等こそ、経済を成長させる
- 大軍拡の先に平和はこない、憲法9条活かして「以下こそ外交、ただちに外交」
- 政治の深刻なゆきづまり、延命策としての反共攻撃
……統一協会と自民党の癒着の核心は環境謀略
- 治安維持法のもと、戦前の不屈のたたかいから何を受け継ぐか
……女性たちのたたかいに焦点をあてて



昨年11月6日に開かれた女性交流集会での田村智子さんの講演
大きな感動を呼びました。このたび講演のDVDができました。

ぜひ一人でも多くの方に見ていただきたいと思います。

ご希望の方は、事務局 伊藤まで 090-8552-6800

おすすめの一冊

『統一協会Ⅱ勝共連合とはなにか』

(日隈威徳著)

「治安維持法を礼賛」

「反社会的な謀略団体・統一協

会の本質を暴露」

今日、日本社会が乗り越えなければならぬ重要な課題の一つとして、統一協会の策動の一掃があることがクローズアップされています。

そのためには、そもそも統一協会とはどのような団体・組織なのかを正確に把握することが大事です。この点で、日々、系統的に徹底追及している「しんぶん赤旗」とあわせ、新日本出版社が新

装再刊した『統一協会Ⅱ勝共連合とはなにか』(日隈威徳著)が、必読の文献ではないでしょうか。

同書は、「韓国人文鮮明が現代のメシア(救世主)」と説く統一協会の「聖典」・「原理公論」が、日本語版や英語版では、削除されたり、改ざんされたりしていることを指摘し、このような「宗教」は、その教えそのもののなかにうしろぐらゐりものがある(145ページ)と、統一協会が謀略的組織であることを暴露しています。そして、「日本の勝共連合の結



成に大きな役割を果たしたのは、笹川良一ら右翼の巨頭であり、岸信介元首相であった(50ページ)と指摘しています。

併せて、同書で注目されることは、「治安維持法を礼賛し、日本の国防強化、核武装化を主張し、第三次世界大戦を待望する国際勝共連合Ⅱ統一協会は、日本と世界の良識ある人びとにとって唾棄すべき存在である(154ページ)」と断言していることです。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」をスローガンに掲げ、治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める運動をすすめている私たちは、同書に深く学ぶことが求められていることを痛感し、お薦めしたいと思います。

前県本部会長 田辺実

奈良から「平和守れ」の

声高く！

4月には、私たちの命、暮らしを守る大切な統一地方選挙があります。先月号に掲載した尾口、宮本氏以外の4人の候補者からメッセージが寄せられました。6人全員同盟員として、奈良刑務所の意見書提出や伊藤千代子の上映運動にも尽力して頂きました。

県会議員 今井光子



へいわってす
てきだね。与那
国馬がひひーん
とないて。

2013年沖

縄戦没者慰霊祭で安里有生君が朗読した詩です。与那国島がミサイル発射基地にされようとしています。4月の

統一地方選挙は、国民に断りも無く勝手に敵基地攻撃能力を持つことを決めた岸田政権にNOを突きつける絶好のチャンス。戦前伊藤千代子の映画の時代のように女性が政治に参加することも許されなかった時代、共産党というだけで弾圧された時代と今は違います。女性が選挙権を持ち、共産党が頑張っている今、戦争への道は必ずストップさせましょう。平和を作る主人公は私。

県会議員 小林てるよ



再び暗黒政治と戦
争を許せません！
国賠同盟のみなさ
んの日ごろの粘り強
い活動に心から感謝

と敬意をもうしあげます。

4年に一度の統一地方選挙が目前に迫って参りました。

岸田政権が進める大軍拡・大増税で暮らしも経済も壊し、平和を壊し、憲法を壊す戦争する国家づくりは許さない！と、この奈良から大きく声をあげていきます。戦前の暗黒時代「不屈」に闘いぬぎ、治安維持法で犠牲になった先輩の志を引き継げるよう、力を尽くしてまいります。

県会議員 山村さちほ



皆さんの「再び
戦争と暗黒政治
を許さない」ため
の粘り強い闘い
に、心から敬意を
表します。

表します。

おびただしい犠牲を生んだ侵略戦争に、いまだ反省のない自民党政権は、憲法違反の敵基地攻撃能力をもって、アメリカとともに戦争国家への道に大きく舵を切る暴挙を進めています。

歴史的な選挙、暴走する岸田政権に審判を下し、みなさんと力を合わせて、平和憲法守りぬぐために全力を尽くします。よろしくお願ひします。

奈良県議会議員 太田あつし



昨年、映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」を観ました。労働

党から立候補を決意した山本懸蔵は資金難で、支援者が待つ北海道へ出発できずにいました。その時、自分の実家から仕送りしてくれた学費をカンパして送り出したのが主人公、伊藤千代子であったことを初めて知りました。

どんなに葛藤があつたことかと思ひます。選挙が終わった後、三・一五大弾圧で検挙され、拷問を受けながら

翌年、獄中で24歳の若さで亡くなりました。

どんな困難があつても戦争反対、主権在民を掲げてたつた先駆者の想いを少しでも引き継いでいくことができるように私も頑張りたいと思ひます。

川柳

大和郡山支部 杉本 英雄

- ・赤鬼もおののく鬼の大軍拡
- ・賽銭を3倍にして平和祈願
- ・豆よりも巻き寿司よりも

チヨコレート

奈良の愚僧

あんたとは ぼやき続けて五十年
人前で背中かかされそがいい
ゼロコロナいつの間にやら9億人

季節の 言の葉

輝ける冬の星座よ 愛すべきリアリズムとは 夢を糧とす

歌人・水野昌雄さんの一首です。
リアルに現実を直視した人間的なビジョン・夢・希望。
歴史的岐路に立つ今こそかみしめたい歌です。

今後の日程

2月24日(金)

ロシアのウクライナ侵略1年目の日

県民集会&デモ近鉄奈良駅前 10時30分～

2月26日(日)

大阪「多喜二祭」クレオ大阪東ホール

(JR京橋駅南 600m)13時～

3月11日(土)

3・11 原発ゼロ・被災者支援

奈良のつどい JR 奈良駅前広場 12:30～14:45

署名数・会員数の到達(1月31日現在)
団体署名 二十筆(前月比0)
個人署名 四二〇筆(前月比一〇増)
会員数 四〇二名

(前月比一増、二名退会)

編集後記

毎日のようにテレビでは、ロシアによる蛮行が報道されています。凍てつく寒さの中で身の心も傷つき戦闘の恐怖の中でかすかな平和の希望を捨てずにいる人のことを想えば決して目をそらしてはいけないのですよね。そしてまともな訓練も受けずに最前線へと送られる息子たちを見送るロシアの母親たちの怒りと嘆きもまた胸を締めつけます。

ロシアがウクライナに侵略して2月24日で1年になります。ロシアの数々の武力行使は戦争犯罪として問われるべきものです。

私は、このウクライナ危機に乗じた日本政府のあり方には本当に腹がたちます。敵基地攻撃能力の保有など、安保3文書は閣議決定のみで、アメリカに鼻高々と報告する。国民の83%が反対している大軍拡の財源は国民に負担を強いる。このままでは、日本は世界第3位の軍事大国になってしまいます。

憲法9条を持つ国としての国際的信用は吹っ飛んでしまいます。「岸田内閣は、日本は憲法9条を持つ国だという矜持を持ちなさい」と言いたい。戦争を始めたら、その暴走を、狂気を止めることはむずかしい。第2次世界大戦で骨身にしみて感じたはずです。私たちはあの時、二度と戦争はしないと誓ったではありませんか。

ウクライナに平和のヒマワリ咲きほこれ

自由の旗も高くかかげて (平和万葉集より)

E・I